

ふるさと水辺の生き物教室

河辺地区



大洲市立河辺小学校

南予地方局八幡浜支局農村整備第一・二課

1. 生き物教室の概要（がいよう）

開催日時：平成28年6月27日（月） 8：30～12：00

開催場所：愛媛県大洲市河辺地区

講師：松山東雲短期大学 松井 宏光 名誉教授

参加者：大洲市立河辺小学校 3年生 2名

4年生 3名

5年生 1名

6年生 6名

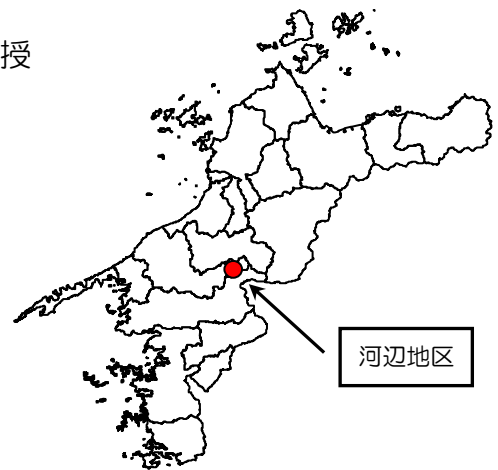
先生 4名

ふるさと水と土指導員 3名

南予地方局八幡浜支局農村整備第一・第二課 7名

大洲市農山漁村整備課 3名

水と土ネット愛媛 4名



2. 地区の概要（がいよう）

大洲市は、愛媛県南予地方の入口に位置し、伊予の小京都とも呼ばれています。市の中心部を清流「肱川」が流れ、昔ながらの街並みが残り、美しい田園風景や山並みが特徴のまちです。

河辺地区は、肱川の支流の1つである河辺川の上流に位置し、四方を山々で囲まれた典型的な中山間地域で、日本の原風景を思わせる集落が広がっています。また、坂本龍馬の脱藩ルートとして、龍馬が伊予国に最初の一步を刻んだ地として知られており、幕末ロマンを求めて県内外から多くの龍馬ファンが訪れています。

平成2年度に河辺地区の4つの小学校が統合され、新しい河辺小学校となりました。郷土を愛し、知・徳・体の調和のとれた心身ともにたくましく生きる子どもを育てることを教育目標としています。近年は、出前授業や田植え・じゃがいもの収穫といった農作業体験などにも力を入れており、地域住民の方々とのふれあいも大切にしています。



3. 生き物教室の内容

今回の生き物教室は、河辺小学校からとびいしほししゅうへん飛石橋周辺までバスで移動し、田んぼと河辺川のかしよ2箇所さいしゅうで生き物を採集しました。



○漁業組合大野清正さんのおはなし

魚を捕まえる道具名と使い方を教えてもらった後、川にいる魚やモクズガニ、川エビ、川ドジョウなど食べたらおいしい生き物について説明がありました。



竹あみ



はやびん



とあみ
投網



さで網

大野さんに教えてもらった河辺川に住む魚たち

1	ハヤ	9	カワエビ (ヌマエビ)
2	ウグイ	10	ドジョウ
3	ドンコ	11	ウナギ
4	モツゴ	12	モクズガニ
5	イワナ	13	コイ
6	マス	14	イシガメ
7	オコゼ (アカザ)	15	スッポン
8	アユ	16	サワガニ



○生き物採集

生き物教室のスタッフから、注意事項や採集^{じこう さいしゅう}方法の説明を受けた後、班ごとに田んぼへ移動して生き物の採集を開始しました。その後、当日川の中にしかけていた網かご^{あみ}を引き上げました。

田んぼや川では、アカハライモリ、ウグイ、オイカワ、カジカガエル、ドンコ、ミヤマカワトンボ、ミズカマキリなどが採れました。



○生き物の同定（名前調べ）、観察

採集した生き物を小学校へ持って帰り、^{すかん}図鑑を見て、名前を調べました。そして、それぞれ自分が^{きょうみ}興味を持った生き物を選び、^{とくちょう}特徴を^{ていねい}丁寧にスケッチしました。



○松井先生の授業

松井先生から身近にある^{しょくぶつ}植物について、いろいろな話がありました。

これはツルヨシです。世界で一番古い楽器で笛になります。^{しょうそういん}正倉院の中にある^{しょう}笙という楽器は、ツルヨシで作られています。窓の所に建てかけて日よけに使うヨシズ、最近では紙の材料にも利用されています。

カラムシは、皆さんが70年ぐらい前（戦時中）だったら、学校の授業を受けずに集めさせられました。これから細い^{せんい}繊維が取れます。^{せんい}繊維を結んで、布を作ります。とても強い涼しい布で、^{ぐんたい}軍隊の人が着ていました。大昔、^{もめん}絹とか木綿が日本に来る前の日本人は、このカラムシを使って服を作っていました。^{しょうぼうしゃ}消防車に積んであるホースは、以前はカラムシの仲間で作られていたと言われています。

これは、正式にはエゴノキ。日本人はとても大事にしていました。丸い実を3つぐらい手でつぶして水を3、4センチぐらい入れてストローで吹くと、^{せっけん}石鹸になります。

ドクダミは、^{くすり}薬がない昔の日本人にとって、とてもいい薬でした。市販されているお茶にも入っているので、今でもドクダミを飲んでいきます。昔はドクダミではなく、十の薬の効果があるから、^{じゅう}十^{やく}薬と言っていました。体に悪くはないけれど、強い^{にお}匂いがします。熱を加えたり、乾かしたりしたら匂いがなくなります。この匂いの^{ひみつ}秘密は、葉っぱは動けないから、虫にかじられないための^{ぼうえいさく}防衛策で



ツルヨシ



カラムシ



エゴノキ



ドクダミ

す。細菌とかきのこの孢子とかを防ぐ効果もあります。

サトイモの葉です。サトイモの葉っぱを顕微鏡で見たら、細かい毛がいっぱい生えています。細かい毛があるから水が乗っても表面張力で水をはじいています。水をはじくものにはもう1つ別の意味があって、葉っぱの上のほこりを取っています。これを使って傘以外にすごいものがあります。雨が当たる高層ビルの塗装とか、一部カーブミラーとか、雨が当たる所の汚れを落として、人間の手が届かない高い所に使っています。



サトイモ

自然界のいろんなものを使って、人間がまねをして有名なものはマジックテープです。また、蚊が刺す針の先を見て、どうも針の先がギザギザになっていて、痛みの少ない注射針ができています。フクロウが音もなくすっとやって来ることから羽根を調べて、新幹線の上に乗っている電線の電気をもらうパンタグラフというのが作られました。

みなさんが学校から帰る途中の道路沿いにたくさん咲いていた花、名前はネムノキです。この花ちょっと匂いがあります。これは蛾にはいい匂いです。夜になったら葉っぱが出て閉じます。朝になったら全部開きます。赤く見えるのは、おしべです。根元に黄緑色で少しギザギザなのが本当の花びらで、出ているのがおしべ。蛾を呼ぶからおしべはたくさんあってふわふわして、沢山匂いを出しています。



ネムノキ

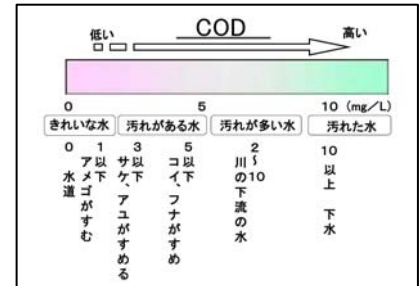
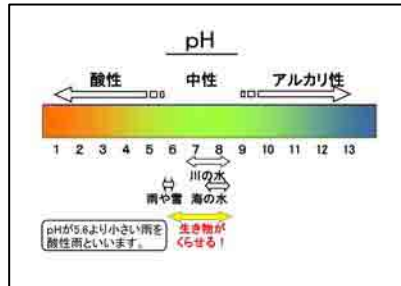


○水質調査

①川の水と②水道水を、pH（酸性・アルカリ性をあらわす単位）とCOD（水のごれを知る目安）検査を行い、水の性質を調べました。

pH検査：①と②ともに、中性の値で生き物が暮らすことができます。

COD検査：①は汚れた水、②は汚れがある水の数値結果となりました。



4. おわりに

今日はお忙しい中、僕たちのために水生生物調査を開いていただき、ありがとうございました。僕はいろいろな身近にある植物のことを知って、いろいろなものを活用して生活をしていきたいなと思いました。今日は本当にありがとうございました。

(菅 慎さん)



今日は大変お疲れさまでした。松井先生、貴重なお話をいただきまして、ありがとうございました。指導員の皆様、ご指導くださいましてありがとうございました。そして、河辺小学校の皆さん、今日は一生懸命調べていただきまして、大変うれしく思っています。この河辺には貴重な宝物がいっぱいあるということがよく分かったと思います。そこで2つお願いがあります。1つ

は今日の事をこれからもずっと覚えていて下さい。2つめ、こういう貴重で大切な宝物がある河辺を大いに自慢して下さい。以上2つよろしく申し上げます。今日はどうもありがとうございました。(松尾 健工事検査専門員)



